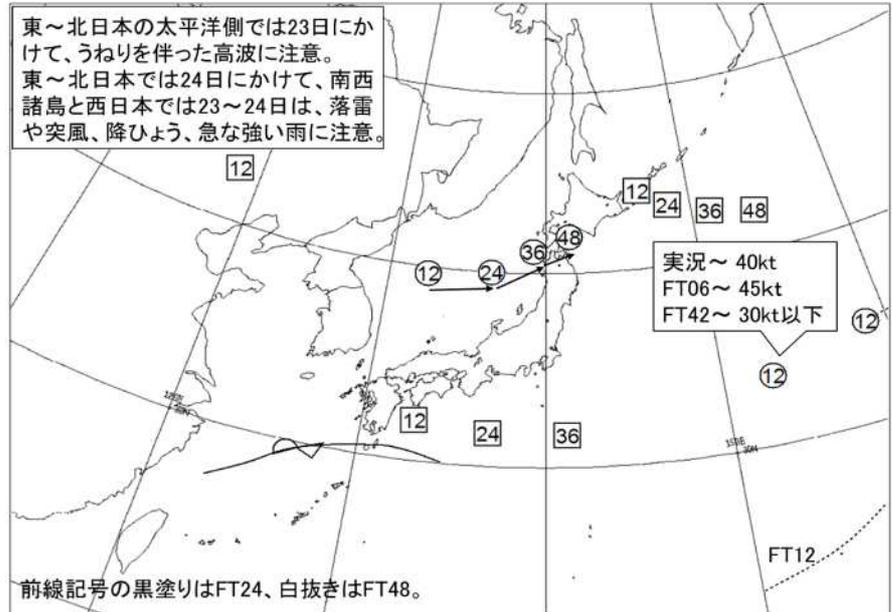


### 1. 実況上の着目点

① 日本の東に 500hPa5460m 付近の-30℃以下の寒気を伴ったトラフがあって、東進。上空寒気の影響で大気の状態が不安定となっており、日本の東と日本海では雷を検知。また、トラフに対応し、日本の東には低気圧があって東南東進。また、日本の東には前線を伴った別の低気圧があって東北東進。また、これらの低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなっており、強い風が吹き、東～北日本の太平洋側では波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

- ② 中国東北区に 500hPa5340m 付近の-36℃以下の寒気を伴った寒冷渦があって、東南東進。  
③ 千島近海付近と対馬近海付近には高気圧があって、その間の日本海は地上の気圧の谷となっている。

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは、22日夜には日本のるか東へ東進。500hPa で東日本には-30℃以下、北日本には-33℃以下の寒気が流入し、大気の状態が不安定となる所がある。東～北日本では 22 日は、落雷や突風、降ひょうに注意。また、1項①の二つの低気圧は、23日にかけて一体化し、日本のるか東を発達しながら東進する。低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。東～北日本の太平洋側では 23 日にかけて、うねりを伴った高波に注意。  
② 1項②の寒冷渦は、ゆっくり東南東進し 24 日には日本海へ進む。また、寒冷渦を回るトラフに対応し、22 日夜までに 1 項③の気圧の谷の日本海に低気圧が発生し東北東進、23 日夜には北日本へ接近する。500hPa で東日本は-30℃以下、北日本は-36℃以下の寒気が流入し、上空寒気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。東～北日本では 23～24 日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。  
③ 500hPa5640～5700m のトラフが、24 日は東シナ海から日本の南へ進み、24 日朝までに東シナ海～四国の南に前線が顕在化する。前線に向かい、日本の南～東に移動する高気圧後面から 850hPa318K 以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となり雷を伴い強い雨の降る所がある。南西諸島と西日本では 23～24 日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

**3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場は GSM を基本、量予想や降水分布は MSM や LFM も参考。

### 4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。  
② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。  
③ 波浪(明日まで)：東北・関東・伊豆諸島 3m。

**5. 全般気象情報発表の有無** 発表の予定はない。